

頁	誤	正
p. 65	脚注 24 subject to $g(x_1, x_2, a) \leq 0$	subject to $g(x_1, x_2, a) \geq 0$
p. 76	このとき、補償需要は点 E から点 E' に変化する。	このとき、補償需要は点 E から点 H に変化する。
p. 76	$\mathcal{L}(x_1, x_2, \lambda; p_1, p_2, U) \equiv p_1 x_1 + p_2 x_2 + \mu \{U - u(x_1, x_2)\}$	$\mathcal{L}(x_1, x_2, \mu; p_1, p_2, U) \equiv p_1 x_1 + p_2 x_2 + \mu \{U - u(x_1, x_2)\}$
p. 83	問題 3.8 価格消費曲線が左上がりになっている部分では、つぎのいずれが成り立たないか。	価格消費曲線が左上がりになっている消費計画について、つぎの各々の正否を示しなさい。
p. 95	ファクト 4.6 $k > 1$ の収穫逓増を示す。	$k > 1$ のとき収穫逓増を示す。
p. 96	マニュアルを容易	マニュアルを用意
p. 97	脚注 4 $V \geq 300$ であれば、300 円の投資は	$V \geq 300$ であれば、300 万円の投資は
p. 111	操業中止価格 \hat{p} 円は損益分岐価格 \bar{p} 円より高い。	操業中止価格 \hat{p} 円は損益分岐価格 \bar{p} 円より低い。
p. 137	5.7 式 $\sum_{h=1}^l p_h \zeta_h(p_1, \dots, p_l) \leq 0$	$\sum_{h=1}^l p_h \zeta_h(p_1, \dots, p_l) \leq 0$
p. 156	図 6.2 の曲線 $O_A ABCO_B$ 上の点	図 6.2 の曲線 $O_1 ABCO_2$ 上の点
p. 223	$q^* \equiv 20\gamma / (2 - \alpha)$	$q^* \equiv 20\gamma / (2 - \gamma)$
p. 295	取引価格はクールノー均衡に比べ上昇し、総余剰が減少	取引価格はクールノー均衡に比べ下落し、総余剰が増加
p. 298	繰り返しゲーム での利得は、各段階 t での利得 π^t の割引現在価値総額 $\Pi \equiv \pi^1 + \delta\pi^2 + \delta^2\pi^3 + \dots + \delta^{t-1}\pi^t + \dots$	繰り返しゲーム での利得は、各段階 t での利得 $\pi(t)$ の割引現在価値総額 $\Pi \equiv \pi(1) + \delta\pi(2) + \delta^2\pi(3) + \dots + \delta^{t-1}\pi(t) + \dots$
	であるとする。	であるとする。
p. 299	$1/8(1 - \delta)$	$\frac{1}{8}(1 - \delta)^{-1}$
p. 300	問題 13.3 (2) (b) 取引価格が上がり、(c) 総余剰が減少	(b) 取引価格が下がり、(c) 総余剰が増加
p. 302	$\epsilon_i \equiv -(p_i/x_i)D'_i(x_i)$	$\epsilon_i \equiv -(p_i/x_i)D'_i(p_i)$
p. 310	定理 14.5 (1) 企業は差別化を行わず	企業は差別化を行わず
p. 314	問題 14.1 (6) 価格差別化によって、各グループはそうでないときに比べ、いくら高い、あるいは低い価格で購入することになったといえるであろうか。	価格差別化による各グループの価格負担増、または軽減幅
p. 354	表 17.2 (abc, bac, acb)	(abc, bac, abc)
p. 354	表 17.2 内 1 箇所、他 2 箇所 (abc, bca, acb)	(abc, bca, abc)